

二〇二四年度

二月二日午後入試

国語 (45分)

注意

- 1 開始の「チャイム」が鳴るまでは、中を見てはいけません。
- 2 答えはすべて解答题紙の解答らんには、はっきり書きなさい。
- 3 終わりの「チャイム」が鳴ったら、とちゅうでもやめなさい。
- 4 問題のページは、4-1 から 4-12 まであります。

一 次のⅠⅡⅢの文章を読んで後の問いに答えなさい。なお、ⅠとⅢは同じ書籍の中にある文章です。(字数制限のある場合は、句読点や記号も字数に数えます。)

Ⅰ

日本人は、何かにつけて海外(とくに欧米)での反応を気にしたり、海外ではどうしているのかを気にする。テレビで討論番組や報道解説番組などをみても、その時々の特マの専門家とされる人物が「海外では……」という言葉を発表し、やたらと海外流を紹介し、日本は遅れているというようなコメントを、いかにも得意げにしている場面に出くわすことがある。

でも、海外と違うから自分たちは遅れているのだと反射的に思ってしまうところに、思考停止を感じざるを得ない。心の奥に刻まれてくる欧米コンプレックスがもたらす思考停止と言えようか。

冷静に考えてみればすぐにわかることだが、それぞれの文化に固有な伝統的価値観があり、それに基づいた制度や慣習があり、また特徴的な行動パターンがあるわけで、違いがあつて当然で、どちらがよいかはそう簡単に判断できるものではない。他の国であれば、

「そんな国もあるんだな」

という程度の反応になるであろうことでも、なぜか日本では、

「だから日本は遅れてるんだ」

「ここが日本のズレてるところなんだよね」

というような反応になり、

「日本も海外に学んで一刻も早く改善していかないと」

といった議論になってしまいがちである。

そもそも文化的伝統が違えば、形の上では同じ制度ややり方を取り入れても、それがもたらす影響はまったく違ったものになる。^①

ビジネス書でも、翻訳物や「ハーバード流」のように海外流、とくにアメリカ流を売り物にしたものが目立つが、それは海外流が正しく、また新しくして、日本は遅れているといった思いを無意識のうちに抱えている日本人が多く、その手の本がよく売れるからだろう。^②

だが、アメリカ社会は日本が理想としモデルにするほどうまくいっているだろうか。犯罪が多く、貧富の差が著しく、病気になるっても医療費が高額すぎて富裕層以外はなかなか医者にもかかれず、争い事が多く訴訟だらけである。とても日本がモデルにして目指すような社会ではあり得ない。

さらに言えば、アメリカ流はべつに新しいわけではなく、アメリカ社会では伝統的なやり方なのである。たとえば、成果主義も雇用の流動性も、べつに新しいとか進んでいるというのではなく、単にアメリカ流であるにすぎない。ゆえにアメリカ流と違う日本が遅れているのではない。^③

アメリカ流と違うからといって年功賃金や終身雇用などの日本流をつぎつぎに崩してきたが、アメリカ社会で苦しんでいるアメリカ人が非常に多いという現実からすれば、アメリカ流が進んでいるわけでも望ましくないわけでもないことは明らかだろう。

日本の社会は、従業員とその家族の生活の安定を重視する人事評価や雇用のシステムで奇跡的な経済発展を遂げてきたわけだし、治安も保たれてきた。でも、ここにきて行き詰まっている。だが、アメリカをはじめ海外の国々も同じく行き詰まっている。

そこで冷静に考えれば、海外と違うからといって、「日本は遅れてる」と海外流に追随する必要はないは

ずだ。欧米諸国では、海外と何か違うところがあったとして、「自国は遅れている」などといって、海外流を慌てて取り入れようとしたりするだろうか。

私たちが、こうした思考停止を脱して、もう少し地に のついた動きをすべきなのではないか。

(榎本博明「思考停止という病理」より)

※(注) 年功賃金 年齢や勤続年数とともに上昇する賃金。

追隨 あとにしたがうこと。

問一 線①「それ」の指し示す内容として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 一刻も早い改善
- イ 文化的伝統の違いが形にあらわれること
- ウ 文化的伝統に合わせた制度ややり方
- エ 形式が同じ制度ややり方を取り入れること

問二 線②「海外流が正しく、また新しくて、日本は遅れている」といった思いを無意識のうちに抱えている」について次の1・2の問いに答えなさい。

1 「海外流が正しく、また新しくて、日本は遅れている」といった思いとありますが、このような「思い」のことを文中ではどのように表現していますか。文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

2 「海外流が正しく、また新しくて、日本は遅れている」といった思いを無意識のうちに抱えている」とありますが、これについて筆者はどのように考えていますか。次のア～エの中から最も適当なものの一つを選び、その記号を答えなさい。

- ア それぞれの文化特有の制度や慣習に基づいた考え方の優劣を判断するのは難しいため、反射的に違いを意識してはいけない。
- イ 海外との違いに反射的に反応するのは日本人の典型的な考え方であるが、海外流は進んでいるので当然の反応だと言える。
- ウ 必ずしも海外流が優れているわけではなく、そもそも文化が違えば価値観も違うのでどちらが優れていると簡単に判断できない。
- エ 確かに海外流は日本に比べ進んでいるようにみえるが、経済発展をもたらした日本の制度の方がより優れているといえる。

問三——線③「アメリカ流と違うからといって年功賃金や終身雇用などの日本流をつぎつぎに崩してきたが、アメリカ社会で苦しんでいるアメリカ人が非常に多いという現実からすれば、アメリカ流が進んでいるわけでも望ましいわけでもないことは明らかだろう。」について次の1〜3の問いに答えなさい。

1 日本では「年功賃金」や「終身雇用」といった制度をとっていますが、アメリカ社会ではそれぞれどのようなになっていますか。左の表のA・Bにあてはまる言葉を文中からそれぞれぬき出して答えなさい。

日本	⇕	アメリカ
年功賃金	⇕	A
終身雇用	⇕	B

2 「アメリカ社会で苦しんでいるアメリカ人が非常に多いという現実」とありますが、「アメリカ社会」の苦しさが具体的に述べられている一文を文中からぬき出し、その最初の五字を答えなさい。

3 かつての日本では「年功賃金や終身雇用」によつてどのような社会が形成されましたか。三十字以上、四十字以内で説明しなさい。

問四——線④「こうした思考停止」とはどのようなことを指していますか。解答らんの「こと。」につながるように、文中の言葉を使って三十字以上、四十字以内で答えなさい。

問五——線⑤「地に [] のついた動き」とありますが、これは「地に [] をつける」という慣用語を使った表現です。 [] にあてはまる漢字一字を答えなさい。

II

二〇一一年五月、「東電福島原発事故調査・検証委員会」が発足しました。東京電力福島第一・第二原子力発電所の事故および被害の原因を究明するための調査・検証を行い、被害の拡大防止や事故の再発防止などに関する政務提言を行うための組織です。

私は政府の内閣府に依頼されて、一〇名の学識経験者などから構成される委員会の委員長を務めました。一年二カ月後の二〇一二年七月、最終報告を提出して、調査活動は終了しました。

同年九月、閣議決定により、同委員会は廃止されましたが、その後も、私には強い違和感が残っていました。《なぜ、東京電力福島第一原子力発電所では非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤が地下一階にあったのだろうか?》

地震が発生したとき、第一原子力発電所の一号機では、核分裂を抑える制御棒が原子炉にすぐ挿入され、原子炉は停止しました。一号機は地震で外部電源を失い、圧力容器内を冷却するための復水器が使えない状態になりました。 [A]、非常用ディーゼル発電機が自動的に起動して、非常用復水器が稼働し、炉心の冷却が始まりました。

この非常用復水器が压力容器内の蒸気を冷却して水に戻し、再び压力容器へ送り込むことで、炉心は冷却されていきました。

B、約五〇分後に津波が襲ったことで、事態は大きく変わります。

この津波で第一原子力発電所の地下一階は浸水し、水に浸かった非常用ディーゼル発電機、バッテリー、電源盤が使いものにならなくなったのです。そのため、非常用復水器は機能を停止しました。冷却されなくなった压力容器内の水は蒸発し続け、露出した燃料棒が水蒸気と反応して大量の水素が発生しました。格納容器から漏れ出した水素は、原子炉建屋の上部にたまり、津波が来てから約二四時間後、なんらかの原因で火し、爆発したのです。

C、事故や災害時に重要な役割を果たす非常用ディーゼル発電機やバッテリー、電源盤などが地下一階ではなく、津波の被害を受けない高台か、せめて長時間の浸水は避けられた地上に設置されていたとしたら、炉心の冷却が続けられ、状況は変わっていたかもしれないのです。

では、なぜ、非常用ディーゼル発電機やバッテリーや電源盤などは、わざわざ地下一階に設置しなければならなかったのでしょうか。

⑥ いろいろと調べた結果、私は、驚くべき事実を推認するに至りました。

実は、東京電力福島第一原子力発電所で非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤を地下一階に設置したことには、科学的な根拠がなかったのです。

ただ、「見本にしたアメリカの原子力発電所の設計がそうだったから」というのが主な理由だったらしいのです。

ならば、福島第一原子力発電所の設計の見本となったアメリカの原子力発電所では、なぜ、地下に設置しなければならなかったのでしょうか。

⑦ その理由がわかったとき、私は愕然としました。

見本にしたアメリカの原子力発電所の非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）などが地下一階に設置されたのは「地上に設置したら、巨大なトルネード（竜巻）の襲来を受けたとき、破壊されてしまうから」でした。

※ 図1と2の二つの地図を見比べてみてください。

上の地図の原子力発電所の位置と、下の地図のトルネードが多発する地域の位置は、奇妙なほど一致しています。つまり、アメリカの原子力発電所の多くは、トルネードが頻繁に発生する地域に建設されているのです。日本ではあまり大きな竜巻が発生しないので、竜巻の発生により施設が被害を受けるというイメージがありません。しかし、みなさんもニュースで見ることがあるかもしれませんが、米国の巨大なトルネードは日本の竜巻とは大きさもエネルギーも比べものにならないくらい巨大なのです。

たとえば、トルネードの場合、発生してから長いものでは数時間も続き、風のスピードは秒速一〇〇メートルにまで及びます。

そんな巨大なトルネードは車でも建物でも根こそぎ風の力で巻き上げてしまうので、通過した後には何も無い真っ平らな土地が残るだけというほどの強烈さです。

なので、アメリカの原子力発電所の中には、いざというときとても重要な役割を果たす非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤などは、トルネードに持つていかれたり破壊されたりしないよう、

地下に設置しているケースがあるのです。

しかし、日本には米国の巨大トルネードと同等レベルの猛烈な竜巻は起こりません。しかも、福島第一原子力発電所は海のすぐ近く、いわゆる臨海地域に建てられているので、巨大な竜巻よりも津波に襲われる可能性の方が高いと言えます。

なのに、津波で浸水するリスクを考えて高台や地上に設置するのではなく、巨大なトルネードに襲われることなどないのに、ただ「見本にしたアメリカの原子力発電所がそうだったから」という理由で、非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤は地下に設置されたと推認できるのです。

東京電力福島第一原子力発電所の一号機は、言わばアメリカの原子力発電所の焼き直しでした。「すでに安全性が確かめられた技術なのだから」と、日本ではどうだろうかと推測することもなく、自分の頭でちゃんと考えもしないで「Y」に受け入れてしまいました。その結果、誰も「そのまま地下に設置したら、津波が来たとき、非常用ディーゼル発電機やバッテリーや電源盤が浸水で壊れて、大きな事故につながるかもしれない」という事実を重視しなかったわけです。

（畑村洋太郎「やらかした時にどうするか」より）

※（注） 政務提言 国として意見や考えを出すこと。

閣議決定 内閣総理大臣が主催する内閣の会議における意思決定。

原子炉建屋 原子炉の主要な設備を格納するコンクリート造りの建物。

愕然 とても驚くさま。

図1と2の二つの地図 今回の出題では省略しています。

問六 A 〽C にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを次のア〜エの中から一つ選

び、その記号を答えなさい。

- ア A そして B けれども C しかも
イ A くわえて B しかし C そして
ウ A しかし B ところが C つまり
エ A ところが B たとえば C 要するに

問七 ——線⑥「いろいろと調べた結果、私は、驚くべき事実を推認するに至りました。」について、次の1・2の問いに答えなさい。

1 「いろいろと調べた」とありますが、何について調べたのか答えなさい。

2 「推認」とは、「すでに分かっていることをもとに推測し、ある物事が事実であるらしいことを認めること」という意味ですが、ここで「推認」された「驚くべき事実」とは何ですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 大地震の五十分後に起こった津波によって、非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤が機能しなくなってしまったこと。

イ 大地震で外部電源を失いながらも、すぐに非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤が作動し、炉心の冷却は続いていたということ。

ウ 非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤を地下一階に設置したことには、科学的な根拠がなく、アメリカを見本にしただけだったということ。

エ 地下一階にあった非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤が、津波の被害を受けたために、炉心の冷却ができなくなってしまったということ。

問八 ——線⑦「その理由がわかったとき、私は愕然としました。」について次の1・2の問いに答えなさい。

1 「その理由」とありますが、アメリカの原子力発電所で非常用ディーゼル発電機やバッテリー（直流電源）、電源盤が地下に設置されるように設計された理由はなぜですか。十五字以内でまとめて答えなさい。

2 「私は愕然としました」とありますが、なぜ「愕然」としたのですか。その理由を三十字以上、五十字以内で答えなさい。

問九 Yにあてはまる言葉を次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 無気力 イ 無批判 ウ 意図的 エ 確信的

Ⅲ

昔は家を一步出ると、歩きながら何かを考えると以外にすることがなかった。電車のなかでは、もってきた本や新聞を読むか、そうでなければ物思いに耽るしかなかった。だから自然とあれこれ考える時間が圧倒的に多かった。

ところが、持ち運びできる便利な機器が開発されるようになって、電車などで移動中も、喫茶店や公園の

ベンチで寛くわんきながら、街角でだれかを待っている際にも、イヤホンで音楽を聴きく若者が増えていった。さらに最近では、スマホの急速な普及ふきゅうにより、音楽を聴く人に加えてゲームやSNSをする人、ユーザーを楽しむ人、インターネットで検索けんさくする人などが、圧倒的な多数派となっている。

本を読んだり新聞を読んだりするとき、私たちは頭で文字を理解するという作業を中心ちゅうしんに読んでいるのであり、知的な心のモードになっている。

それに対して、音楽を聴いたりゲームをしたりしているときは、感覚的な心のモードになっており、じっくりものを考えるというようなことはなく、衝動しょうどうに身を任せる感じになっている。そのようなときは、刺激しげきに対して即座に反応するという行動パターンに徹てつすることになり、じっくり考えるような余裕よゆうを失いがちだ。

⑧ このような行動様式がクセになると、絶えず刺激を求め、刺激に瞬時しゆんじに反応する心がつくられていく。刺激がないと物足りないし、ものごとを冷静になってじっくり考える習慣もつかない。

刺激の乏とほしいものにはすぐに飽あきる。ゆえに、刺激の乏しいドラマや映画をじっくり味わうということができない。そこでドラマや映画のつくり手の側は、瞬時に反応できるギャグや笑いを多用し、やたら刺激的な場面を演出しようとする。ファスト映画※などが出回るのも、じっくり味わうような心のモードになりにくい、ということがあるからだ。

このような刺激―反応図式のなかに埋め込まれることで、ものごとを頭でじっくり考えることなく、衝動しょうどう的に瞬時に反応する心が増殖ぞうしよくする。まさに思考停止社会になってきている。

そんな時代だからこそ、考えることの楽しみをもう一度取り戻す必要があるのではないか。感覚的なモードに馴染なじんでいる人は、考えるのがめんどくさいと思いがちだ。

たしかに仕事をするにも、段取りや手順に慣れきっていて、何も考えずに惰性だせいで動いているのはとても楽に違いない。慣れないうちは、何から手をつけたらよいのかわからず、どんなふうにやったらよいのかもわからず、頭のなかパニックになるくらいに考えなければならぬことだらけだ。それが慣れてくると、ほぼ自動的に動けるようになる。でも、楽であればよいのだろうか。しだいに退屈たいくつになってくるといえることはないだろうか。

考えないでよいのは楽なのだが、それではやりがいを感じにくく、おもしろくない。「よけいなことは考えずに、言われたことを言われた通りにやればいいんだ」というような働き方で、やりがいを感じるのは難しい。自分なりの創意工夫くふうの余地がないとモチベーションは上がらない。

そう考えると、私たちは、ITの発達によって何でも便利になり、いちいち考えなければならぬ苦痛から解放されたわけだが、同時に、あれこれ考えることの快楽うたはも奪うばわれてしまったとも言える。楽なだけで、何か物足りない。そんな気分になることはないだろうか。

⑨ じつは、考えるということ、私たちにとってとても魅力的な娯楽ごらくなのではないだろうか。それが奪うばわれつつあるということに、そろそろ気づくべきなのではないか。

学校時代の授業を思い出しても、ちんぷんかんぷんでまったくわからない難しい授業だと、楽しいわけがなく、退屈たいくつきわまりない授業時間になってしまふ。だが、やさしい内容なら楽しい授業時間になるかという、けっしてそんなことはない。当たり前のように、わかっていることばかりだと、これまたつまらなく退屈な授業時間になるだろう。

わかるようで、まだわからない。よく考えればわかるかもしれない。そんなときにチャレンジ精神が刺激され、ワクワク感を味わうことができる。そして、わからなかったことがわかるようになってくることが学ぶ喜びにつながっていく。そんな体験ができると楽しい授業時間になる。

何気ない日常のなかでも、そうした楽しさを味わえるようになれば、考えることがクセになり、思考停止から脱することができるようになるだろう。

(榎本博明「思考停止という病理」より)

※(注) ファースト映画——映画の一部を切り出し、字幕やナレーションをつけて十分程度で内容がわかる

ようにした動画のこと。著作権法的に違法となりうる。

問十——線⑧「このような行動様式」について次の1・2の問いに答えなさい。

1 「このような行動様式」とは何のことを指していますか。文中から二十五字以内でぬき出し、そのはじめと終わりの三字を答えなさい。

2 筆者の考えにしたがうと、「このような行動様式」を取りやすくなるのはどのような状況のときだと考えられますか。次のア～オの中からあてはまるものをすべて選び、その記号を答えなさい。

ア 歯医者で名前が呼ばれるまでゲーム機で遊んでいるとき。

イ 電車の中でスマートフォンを使って動画検索をしているとき。

ウ 塾が始まるまで図書館で本を読んですごしているとき。

エ 夕飯が上がるまでパソコンでアイドルのインスタグラムを見ているとき。

オ 待ち合わせまで時間があるので近くの公園を散歩しているとき。

問十一

——線⑨「じつは、考えるということは、私たちにとってとても魅力的な娯楽なのではないだろうか。」とありますが、「考えるということ」が「私たちにとってとても魅力的な娯楽」であるとはどういうことですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 新しいことを始める時に考えることはめんどろであるが、スムーズに考えがまとまると快感に変わってくるということ。

イ そもそも考えることができるのは時間があるから可能なのであり、気づかないところで余裕のある快適な生活を堪能しているということ。

ウ ITの発達によって今まで苦労して考えていたことも、調べるとすぐに答えを得られるようになったので、考えることが楽しさにつながっていること。

エ 考えてもよくわからないときにチャレンジ精神が刺激され、よく考えてわかったときの喜びが次の学びの意欲をかきたてること。

次の会話は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの文章を授業であつた先生と、その授業を受けた生徒の会話です。これを読んで後の1～4の問いに答えなさい。

先生 「さて、今日はⅢの文章の読解のまとめをしたいと思います。まずは前回学習したⅠの文章とⅡの文章とがどのように関連しているかを復習しましょう。」

生徒X 「はい、先生。ⅡはⅠでのべられていたAによって引き起こされた事故の例だと考えます。」

先生 「そうですね。Ⅱの文章は、『B』という事例の引用といえます。」

生徒Y 「Ⅱの文章の筆者は、福島原発事故は地震だけのせいではなく、Cによって引き起こされた人災であると考えていることもわかります。」

先生 「よくできました。では、Ⅲの文章についてはどうですか?」

生徒X 「Ⅲの文章はⅠでのべられたAになりつつある社会の傾向について、問題点を指摘して、『じっくり考えること』の楽しさや奥深さについてまとめています。」

先生 「そうですね。今はわからないことがあると、ネットで検索すればすぐに答えが見つかる時代ですが、それと引きかえに『じっくり考える』という経験を積むことが少なくなっていますね。それは大変残念なことだと思います。」

生徒Y 「調べたらすぐに解答が得られることが『じっくり考える』機会を少なくしているということですね。でも、そのどこが残念なのですか?」

先生 「それはⅢの文章にヒントがあります。誰かわかりますか?」

生徒X 「はい、先生。『考えること』は一見めんどうなことだけれど、自分たちで考える自由があるという点で、達成感や充実感が得られるのだと思います。それが残念なのだと思います。」

先生 「その通りです。みなさんには『考えること』がもたらす充実感や達成感を、これからの授業の中から得てほしいと思います。そのためには、みなさん自身がどんな姿勢で学ぶべきか、文章Ⅲをふまえて、考えてみましょう。」

1 □ Aにあてはまる言葉をⅠの文章から過不足なくぬき出して答えなさい。

2 □ Bにあてはまる文として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 自分の考えをはっきり言わないと相手に伝わらない
- イ 自分の頭で考えようとしないと大変なことが起こる
- ウ 他人のマネばかりしていると本当の自分の姿を見失う
- エ 他人と比べてばかりいると自分の価値がわからなくなる

3 Cにあてはまるものとして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 人間の不注意や怠慢^{たいまん}
- イ 人間の際限のない欲望
- ウ 人間の能力の限界
- エ 人間に備わっている特性

4 〰線「皆さん自身がどんな姿勢で学ぶべきか」とありますが、文章Ⅰ・Ⅱ・Ⅲをふまえた場合、筆者が読者に求めている学ぶ姿勢としてあてはまらないものを次のア～オの中から二つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 算数の時間に解けない問題があった時、すぐに先生に解き方を教えてもらうのではなく、もう一度教科書を読むなどして、自分で答えを導き出せるよう努力した。
- イ 社会のテストの答案が返却^{へんきやく}されたときに、間違^{まちが}えた問題の正答をただ写すのではなく、なぜそれが正答なのか、教科書や資料集で調べて考えた。
- ウ 理科の授業で教科書の実験を再現したところ、実験結果が教科書とは違ったので、すぐに新しい発見としてノートにまとめて先生に提出した。
- エ 国語の時間に説明文を読んだが、筆者の主張を読み取る問題がわからなかったので、国語が得意な友人の解答と同じものを選んだ。
- オ 体育のバスケットボールの授業中に、なかなかシュートが入らないので、どうやったら入るのか考え、いろいろな練習方法を試^{ため}してみた。

二 次の漢字と言葉に関する問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の——線部のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

- ① シジツに基づく大河ドラマ。
- ② 転勤のジレイが出る。
- ③ シユウチの事実。
- ④ 運動会は雨でエンキです。
- ⑤ 相手にコウカンを持つ。

問二 次の①～④の——線部の漢字の読みを、それぞれひらがなで答えなさい。

- ① 秋の気配を感じる。
- ② 著名な学者。
- ③ 必死の形相。
- ④ 公平にけんかを裁く。

問三 次の①～④の□に漢字一字を入れ、四字熟語を完成させなさい。また、その意味を後のア～クの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| ① | 心 | □ | 一転 |
| ② | 絶 | □ | 絶命 |
| ③ | 有 | □ | 無実 |
| ④ | 右往 | □ | 往 |

- ア 前置きがなく、いきなり本題に入ること。
イ あることをきっかけにして、気持ちを入れかえること。
ウ 名前ばかりで中身がともなわないこと。
エ たくみな言葉で人をごまかすこと。
オ 追いつめられて、のがれる方法がないこと。
カ なんでもないことまで、心配しておそれること。
キ うろろうしたりして、まごつき、うろたえること。
ク 何度失敗してもあきらめないこと。

問四 次の①・②の に体の一部を表す漢字一字を入れて、() 内の意味の慣用句を完成させなさい。

- ① に余る (自分の能力をこえていて対処できない)
- ② をわる (本心を打ち明ける)

問五 「むしろ」という言葉の意味が明確にわかるようにして、主語と述語のある短文を作りなさい。